

第2部 富士見市第6次基本構想

富士見市第6次基本構想	5
1 理想の“未来”	6
2 理想の“未来”の構成要素	7
3 理想の“未来”の合言葉	9
4 理想の“未来”のまちづくり	10

1 理想の“未来”

私たちは、自らの歩みで

充実した日々

を送ることができる未来を目指します。

(1) 理想の“未来” とは

子や孫などの次世代へのバトンタッチを意識し、市民がともに目指す 20 年後の“まち”の将来像を、理想の“未来”として位置づけました。

(2) 充実した日々 とは

楽しい、幸せ、居心地が良いなど、市民の価値観が多様化している現在において、充実の定義は様々ですが、誰もが自分らしく、充実した日々を送ることとして、位置づけました。

2 理想の“未来”の構成要素

理想の“未来”の構成要素として、「暮らし・つながり・生活環境」の3つの視点に着目しました。個人としての「暮らし」、人と人が創る「つながり」、それらを取り巻く「生活環境」、この3つの視点が円（縁）となり、未来の“まち”を形づくるものと捉えています。また、「成長の継続」が力強く“まち”全体を押し上げるとともに、各要素が相互に作用することにより、さらなる充実を図り、理想の“未来”に近づいていくことを目指しています。

(1) 理想の“未来”の3つの視点

○実りある暮らし

- ◇心身ともに健康であることは、誰もが願うことです。その願いが叶う暮らしができる“まち”を目指します。
- ◇日々の学びなどを通じ、自分自身の成長を感じ取ることができる、いきいきと喜びにあふれた暮らしができる“まち”を目指します。
- ◇他者へのやさしさを持ち、他者から必要とされる存在になるなど、生きがいのある暮らしができる“まち”を目指します。

○充たされたつながり

- ◇人と人とのつながりの基礎である家族や身近な仲間とのつながりにより、安心とやすらぎに包まれ、過ごすことができる“まち”を目指します。
- ◇世代、国籍、地域などにかかわらず、多様な関係性が生まれ、必要な時に、必要なコミュニケーションが取れるように、周りの人を思いやり、助け合えるつながりのある“まち”を目指します。
- ◇新たな仲間を優しく迎えることができ、多様性を受け入れる風土のある“まち”を目指します。

○恵まれた生活環境

- ◇安心・安全は、生活環境の基礎です。防災、防犯はもちろん、暮らしの安心・安全が確保された“まち”を目指します。
- ◇緑豊かな自然と都市としての利便性を財産とし、調和とバランスの取れた住みやすいまちとして、他では叶わない「富士見市ならではの生活」が実感できる“まち”を目指します。
- ◇生活環境が充実することにより、「誰もが住みたい、住み続けたい・・・選ばれる“まち”」を目指します。

(2) “まち”を押し上げる「成長の継続」

○成長の継続

- ◇まちの経済が潤い、その潤いが新たな成長を生み出していく活力のある“まちづくり”により、さらなる充実を目指します。
- ◇まちへの愛着や誇りを増やすとともに、まちの魅力を向上させる“まちづくり”により、さらなる充実を目指します。
- ◇これまでの歴史を継承し、地の利や新たに加わる力も活かすことで、持続力のある“まちづくり”により、さらなる充実を目指します。

図【理想の“未来”】



“まち”を形づくる“暮らし・つながり・生活環境”を 3 つの円で表現し、富士山に見立てた“成長の継続”がその“まち”をさらなる高みへ押し上げ、晴れ晴れとした明るい“充実した日々”へ向かっている様子を、市章をモチーフに表しました。

みんな笑顔☆ふじみ

(1) 理想の“未来”の合言葉とは

理想の“未来”である「充実した日々」の実現に向け、市民が歩みを進める際の、気持ちや姿勢を表現したものです。

(2) 理想の“未来”の合言葉に込めた思い

市民が一丸となって、理想の“未来”に向けて歩みを進める際に、「笑顔」を原動力として取り組んでいきたいという思いを込めたものです。

覚えやすい合言葉とすることで、大人から子どもまで誰もが合言葉を認識できるように、取り組んでいきたいという思いを込めたものです。

【理想の“未来”の合言葉の選定について】

- ・この合言葉は、市民ワークショップメンバーから提案をいただき、市民ワークショップメンバー、富士見市総合計画審議会委員及び総合計画等検討委員会委員による選考を経て選定されたものです。
- ・わかりやすさや覚えやすさに加え、笑顔という言葉に込められたポジティブな印象などが評価されました。

4 理想の“未来”のまちづくり

理想の“未来”を目指すにあたり、『恵まれた生活環境』や『成長の継続』などを補完するため、都市計画マスタープランと整合を図り、まちづくり（都市計画）の目標を次のとおりとします。

○生活環境が整った快適なまちづくり

- ◇本市の地理的・交通的条件、自然環境などを踏まえ、誰もが安心して快適な生活を送ることができる、歩いて暮らせるまちづくりを実現するため、人が集まる拠点づくりと拠点を結ぶネットワークづくりを進めます。
- ◇効率的で活力のある都市をつくるため、人口減少・超高齢社会に対応したコンパクトなまちづくりを進めます。

○魅力・活力が生まれる人が集まる拠点づくり

- ◇魅力とにぎわいを創り出し、まちの活力を高めるため、地域の特性を活かした人が集まる拠点づくりを進めます。
- ◇市内に位置する3つの鉄道駅周辺においては、商業・業務・行政など、日常生活の拠点にふさわしい多様な都市機能の集積と、良好なまち並みづくりを進めます。
- ◇国道沿道などにおいては、新たな産業の立地や集積を促進します。
地域活力の維持・創出を図るため、田園環境や農業生産基盤を維持しながら、自然環境と調和した秩序ある計画的な土地利用を進めます。

○安全で円滑に利用できる交通環境づくり

- ◇人口減少・超高齢社会に対応した地域づくりでは、人の流れを生み出し、対流に変えていくことが必要です。利便性、快適性を高めるために人が集まる拠点を結ぶ、誰もが安全かつ便利に移動できる交通ネットワークを構築します。
- ◇交通ネットワークの構築にあたっては、地域公共交通網の充実や歩行者や自転車が安全で快適に移動できる空間づくりに取り組みます。
- ◇交通利便性や安全性を高めるため、都市計画道路などの都市間を結ぶ広域幹線道路の整備促進や地域の拠点を結ぶ幹線道路などの整備を進めます。

○環境にやさしい水と緑のまちづくり

- ◇低地部に広がる田園地帯や点在する緑地、湧水などの自然環境は、富士見らしさを醸し出し、生活にやすらぎと潤いを与えるとともに、地球環境にもやさしい貴重な資源です。これらの多面的な機能を持続するため、公園・緑地、河川、下水道などの計画的な整備、適正な維持管理などを行い、快適な生活環境の確保に取り組み、緑と調和した計画的なまちづくりを進めます。

○災害に強い防災力の備わったまちづくり

- ◇今後想定される首都直下地震や集中豪雨による都市型水害を想定した防災対策や被災から円滑に復旧するため「復興事前準備」に取り組み、早期に都市機能が復旧する災害に強いまちをつくります。
- ◇市民協働により密集市街地での防災・減災対策に取り組み、地域の防災力の向上と防災体制の充実したまちをつくります。